

駐車場緑化用芝生「保護&支持」プレート

# ターフパーキング

TP-2

デコレーションパーク

製品サイズ TP-2: 600mm × 2500mm × 50mm

製品サイズ TP-2ハーフ: 600mm × 1250mm × 50mm

## 施工要領書

### ターフパーキングご使用時の注意事項

1. ハイヒール、傘、杖等は歩行中植生への突き刺さりによる転倒等の可能性がありますので、注意看板等の掲示が必要な場合もあります。  
小さな幼児が遊ぶ広場や公園等への設置には適しません。
2. 金属のタイヤチェーンでの乗り上げは、本体の破損が予想されます。
3. 急ブレーキ・急発進は、禁止です。（時速10km以上の走行路面には、設置に適しません。）  
ハンドルの据え切りは避けてください。
4. 施工後の植物（芝生等）には、適度な散水や芝刈り等の管理が必要です。  
（特に設置後1ヶ月間程度は、根付きが不十分な為、適度な散水が必要です。）
5. 植生の保守に関しましては、造園業者等との維持契約を推奨します。
6. 設置場所周辺に雨水排水設備がなく、水没する場所への設置は適しません。
7. 頻繁に出入りのある駐車場は、エンジンの輻射熱により芝生が焼けて枯れる場合があります。  
アイドリングは、禁止でお願いします。
8. 日中の常時駐車は日照不足により、芝生の生育不良が発生しますのでご注意ください。  
（一般的に芝生の生育には5時間／日程度以上の日照が必要とされています。）
9. 自治体により緑地換算の考え方が違う為、事前に確認をお願いいたします。

# 施 工 方 法

## 1.芝生張り施工

### 1-1 路床施工

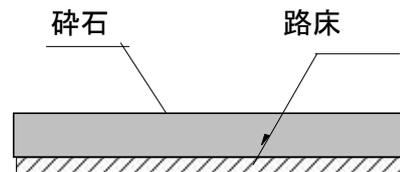
路床とは路盤の下約1mの部分进行言います。路床については特に規制等はありませんが、かなりの水分が含まれていて、人が歩くと足跡が付くような軟弱な場合は、石灰等で安定処理するか路盤厚を増す対策が必要となります。路床施工には、必ず十分なローラー転圧を行ってください。車道、侵入路、車転回場所などの路床設計CBR値は3を基準として下さい。基本的には、一般の駐車場と同じ路盤施工で問題ありません。

### 1-2 路盤施工

路床の上に碎石を敷き詰め、十分に転圧します。碎石の厚さは、一般車150mm～200mm・大型車200mm～350mmとして下さい。転圧が不十分な場合、芝生が沈下することがあります。排水性の悪い路盤では、排水勾配を設けて下さい。

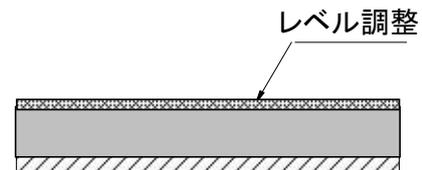
碎石は、クラッシャーラン(C-40)をご使用下さい。

\* 碎石の上に、透水シートを施工する事により敷き砂の流失が防止できます。碎石転圧が不足しそうな部分には、透水シートの施工が望ましい。(出入口縁石付近1m程度)



### 1-3 レベル調整(転圧)

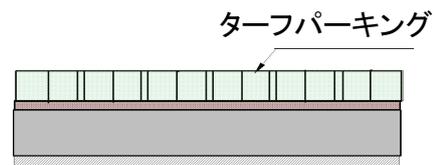
碎石の上に川砂・洗い砂等を投入し敷きならし、プレートで転圧。仕上げ厚30mmになる様にレベル調整を行って下さい。不陸調整が不十分な場合、施工後凸凹が発生する事があります。海砂は使用しないで下さい。



### 1-4 ターフパーキング施工

製品サイズ: 600mm × 2500(1250)mm × 50mm

ターフパーキングを各接合面間に隙間が出来ないように敷き詰めて下さい。切断加工する場合は、電動丸鋸で切断して下さい。





ターフパーキング切断作業



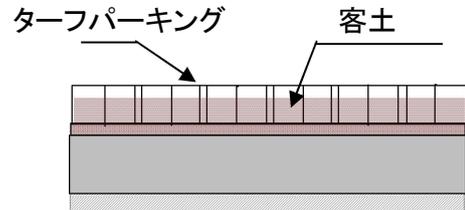
ターフパーキング設置作業



設置作業完了

#### 1-5 客土施工

敷き詰めたターフパーキングの中に客土を投入して下さい。客土はターフパーキング上面から15mm~20mm(張る芝生の厚み分)程度低く入れて下さい。(竹箒やブロワを使用して下さい)客土に化学肥料・土壌改良材(バーク堆肥)を混合して施工すると、芝生の生育がより確実にになります。客土には真砂土・黒土・良質畑土等をご使用ください。



六角マーカ―を設置する場合は、客土投入前に、六角形の穴に確実に差し込んで下さい。土で汚れない様に、ご注意ください。



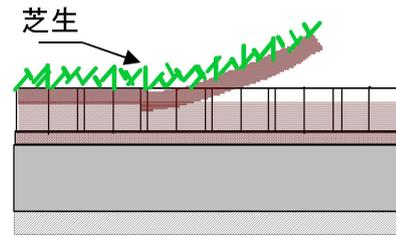
客土投入



客土施工

### 1-6 芝張り施工

ターフパーキング上面に芝生を敷き詰めて下さい。  
目地を空けずに100%張りとして下さい。  
芝生の種類は、地元造園業者様とご相談の上、施工  
場所の気象条件等に最適な品種を選んで下さい。



### 1-7 転圧作業

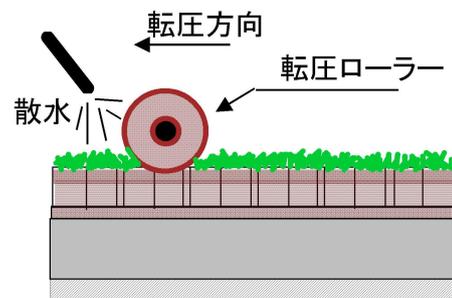
芝生を敷き詰めた後、十分散水しながら  
4t振動ローラーで突起の上部が露出する程度  
まで、3~4回転圧して下さい。  
パークスツッパーを設置する場合は、芝転圧完了  
後に施工して下さい。転圧が不十分な場合、  
芝生が浮き上がり、根が活着できない可能性が  
あります。  
ローラーが入らない部分や、小規模施工の場合  
は、木槌や掛矢等で叩き込んでください。  
芝生の隙間に目土を入れてください。



芝張り施工



転圧作業



散水作業

### 1-8 完成

芝生に適した管理をお願い致します。  
芝生の根が活着するまで養生期間を設定願います。



## 2.播種施工

### 2-1 路床施工

芝張り「施工1-1」を参照下さい。

### 2-2 路盤施工

芝張り「施工1-2」を参照下さい。

### 2-3 レベル調整(転圧)

芝張り「施工1-3」を参照下さい。

### 2-4 ターフパーキング施工

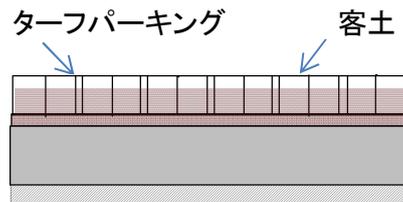
芝張り「施工1-4」を参照下さい。

### 2-5 客土施工

ターフパーキングの中に上面一杯になるまで客土を入れて下さい。

客土に化学肥料・土壌改良材(バーク堆肥)を混合して施工すると、芝生の生育がより確実にになります。客土には真砂土・黒土・良質畑土等をご使用下さい。

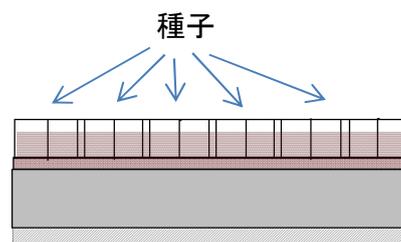
六角マーカを設置する場合は、客土投入前に、六角形の穴に確実に差し込んで下さい。土で汚れない様に、ご注意下さい。



### 2-6 芝生の種蒔き

芝生の種は小さく、風に吹き飛ばされることがあります。種の量の5～10倍の砂と混合して蒔くと、比較的均一に播種することができます。種を蒔いた後、種が隠れる程度に客土を被せ軽く転圧して下さい。転圧を行う事により、種を確実に客土に挿入することができます。種がむき出しになっていると、雨で流失したり、風で飛ばされたり、鳥に食べられたりすることがあります。

芝生の種類につきましては、地元造園業者様とご相談の上、施工場所の環境条件に適した数種類の品種を混合した物をお薦めいたします。



### 2-8 完成

芝生に適した管理をお願い致します。

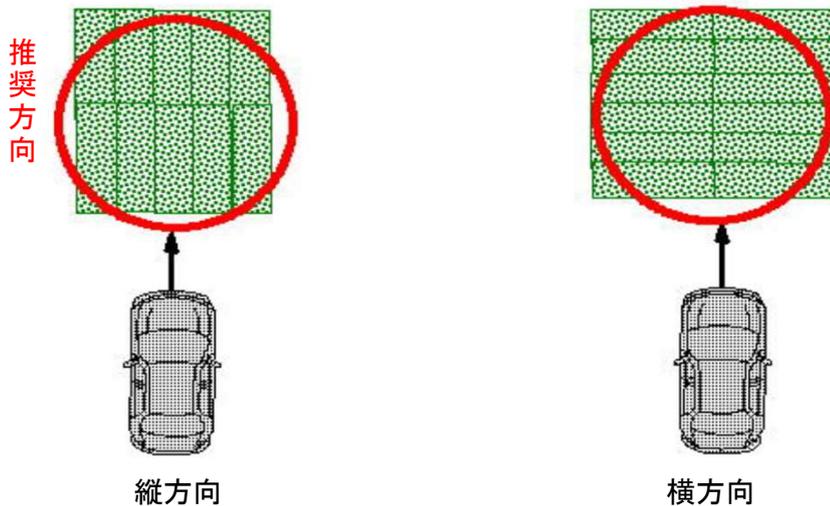
刈り込み、水やり、施肥、目土入れ、サッチかき、エアレーション等

# ターフパーキング設置方法

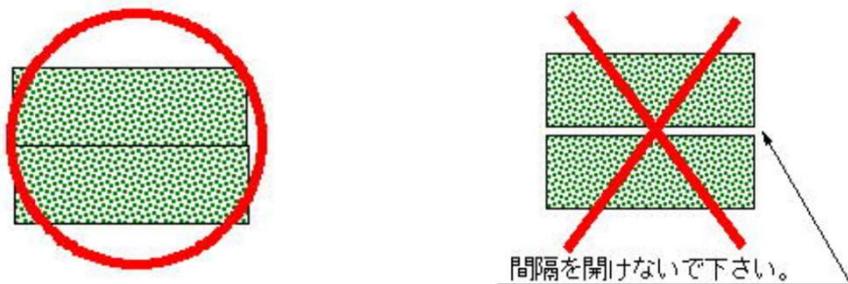
## 1. ターフパーキングの並べ方

ターフパーキングは、六角形の穴が開いている面が上面です。芝生の根が地中に伸びるように丸穴が開いた面が下面(路盤との接地面)です。

ターフパーキングは、表裏を間違っていなければ、車の進入方向に対して、縦・横どちらの設置方法でも施工可能です。(下図参照) 但し、横張りの場合、六角マーカの設置パターンが変わってきます。車の前後に合わせて縦張り方向で駐車するのが理想的です。



ターフパーキングを並べる場合は、必ずターフパーキング間に隙間が出来ないように密着させて並べて下さい。



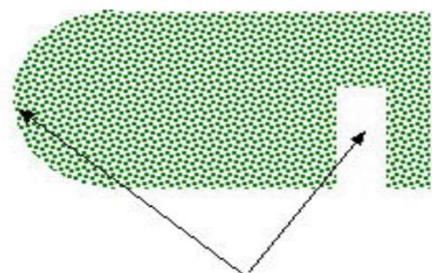
路床が確実に整備され、路盤に不陸が生じ無い様に整地されていれば、ターフパーキングは、置くだけで固定の必要はありません。

## 2. ターフパーキングの切断方法

ターフパーキングを施工場所の形状に合わせて切断する場合は、電動丸鋸を使用して下さい。又、曲線や穴あけの場合は、ジグソーで切断することをお薦めします。

切断面にバリが残る場合がありますが、そのまま設置しても機能上問題ありません。

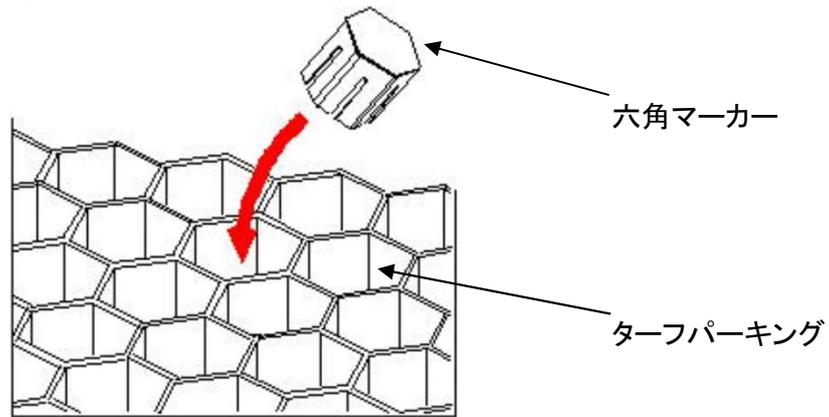
切断の時、ターフパーキングの裏面を上にして鋸の歯を入れることをお薦め致します。



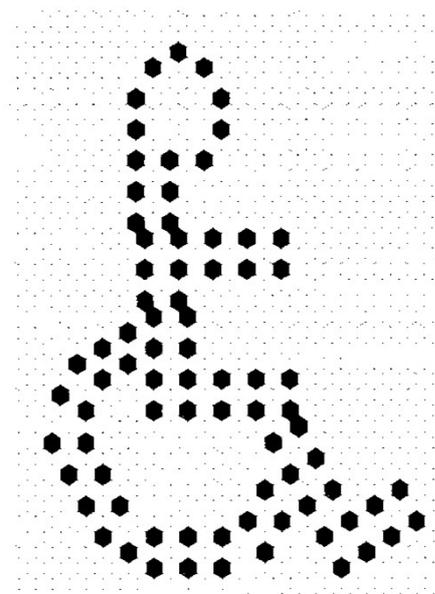
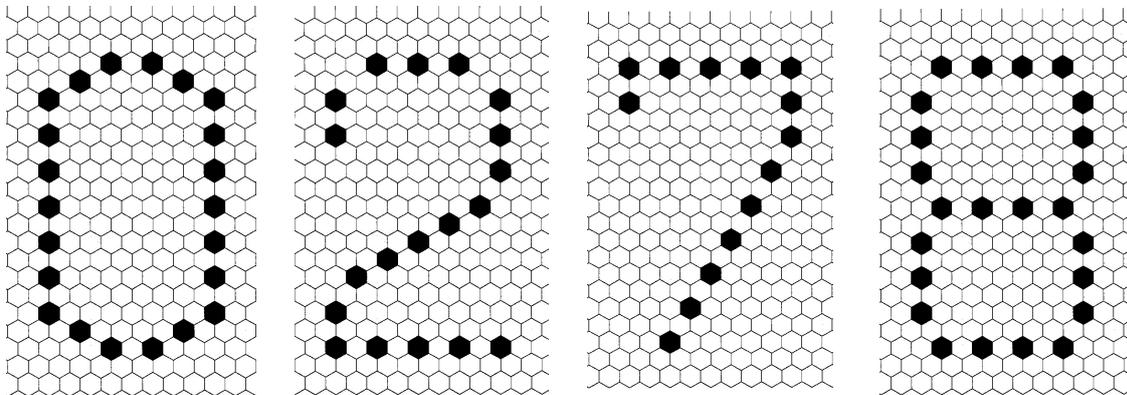
この様な加工にはジグソーを使用して下さい。

### 3. 六角マーカースの設置方法

六角マーカースは、ターフパーキングに差し込むだけで、駐車番号・文字・駐車ラインを描くことが出来ます。六角マーカースの施工(差し込み)は、客土投入の前に行って下さい。客土で汚れない様に、ご注意下さい。



六角マーカース設置方法



## 4. パークストッパー(車止め)設置方法



### 1. パークストッパーの位置決め

設置寸法表を目安に施工位置を決めます。ターフパーキング本体突起部分に専用釘が重ならない位置を選択してください。

障害物と車両の接触を防ぐために、前方障害物からは1100mm以上の間隔をあけてください。パークストッパーの施工幅は、一般乗用車(軽自動車、小型車、普通車)を目安としています。外国車、8ナンバー車などでは施工幅があわない場合もあります。

### 2. パークストッパーの固定

専用釘(L=300)を対角線ごとに施工位置がずれない様に、少しずつ打ち込みます。ずれがなければ、完全に打ち込みます。このとき本体にハンマーが当たるのを防ぐために当て金等を使用してください。

### 3. ボルトキャップの施工

専用ボルトキャップをはめ込んでください。

#### <使用上の注意>

駐車場が崖などの段差のある場所に接している場合は、安全の為にコンクリート製の車止めを、ご使用ください。

